北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光振興論特殊講義	科目コード	8018	単位数	2
担当者名	山田　勅之	開講時期	１後	開講年次	1年次

授業の到達目標及びテーマ

本講義は観光振興を検討するうえで、必要となる理論を学ぶことを目的とする。
・「観光のまなざし」と観光振興の関係性を理論的に理解する。
・「ホスト」と「ゲスト」というキータームから観光振興を理論的に理解する。

授業の概要

観光はありとあらゆるものをその対象とする可能性があり、したがって観光振興論を理解するためには学際的アプローチが必要である。観光研究において、現在なお有用である、ジョン・アーリ『観光のまなざし』とヴァレン・スミス『ホスト・アンド・ゲスト』を理解する。
以上から観光振興という動態をどのようにとらえるべきか、理論的構築をはかる一助とする。

授業計画

1週目 ガイダンス
2週目 観光のまなざし①：観光のまなざし
3週目 観光のまなざし②：大衆観光と海浜リゾート地の盛衰
4週目 観光のまなざし③：変わりゆく観光産業の経済学
5週目 観光のまなざし④：観光のまなざしのもとで働く
6週目 観光のまなざし⑤：文化変容と観光のリストラ
7週目 観光のまなざし⑥：歴史へまなざしを向ける
8週目 観光のまなざし⑦：観光、文化、社会的不均等
9週目 ホスト・アンド・ゲスト①：観光活動と余暇生活
10週目 ホスト・アンド・ゲスト②：欧米以外の社会における初期の観光活動（1）
11週目 ホスト・アンド・ゲスト③：欧米以外の社会における初期の観光活動（2）
12週目 ホスト・アンド・ゲスト④：ヨーロッパのリゾートにおける観光活動（1）
13週目 ホスト・アンド・ゲスト⑤：ヨーロッパのリゾートにおける観光活動（2）
14週目 ホスト・アンド・ゲスト⑥：複合社会における観光活動（1）
15週目 ホスト・アンド・ゲスト⑦：複合社会における観光活動（2）
16週目 振り返り・講評

テキスト

授業時に配布します。

参考書・参考資料等

ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし―現代社会におけるレジャーと旅行』法政大学出版局
バーレーン・スミス『観光とリゾート開発の人類学―ホスト＆ゲスト論でみる地域文化の対応』勁草書房

成績評価の方法・基準

課題に取り組む姿勢や進捗状況、質疑応答などにより総合的に評価する。

更新日付

2026/01/25 02:06